

パブリックコメント 主要意見とその対応

分類	意見	対応
北東アジアに関するご意見	中国国内の交通事情を考慮し、中国貿易の中継港としてロシアのザルビノ港の利用を考慮すべきである。	ご指摘を踏まえ、北東アジア発展に対応し、更なる輸出入ルートとして、中国・ロシア等の国境に近いザルビノ港など北東アジア日本海沿岸地域の開発が進むこと、日本海自体のポテンシャルを高めることが重要である旨の記述をしております。
	観光資源が豊富な北東アジア諸国とを結び安価で安全な観光ルートの開発による人的交流の拡大が重要である。	ご指摘を踏まえ、24 ページを「・・・日本と東アジア、北東アジア諸国に存在する貴重な観光資源を結びつけた国際クルーズを企画し、・・・」と修正し、広域観光交流の促進について記述しております。
	新潟は東京や仙台へのパイプラインを持っているので、サハリンの石油・天然ガスの日本側の受け入れ拠点として発展して欲しい。	ご指摘を踏まえ、25 ページの北東アジア国際石油パイプライン構想の図を修正し、エネルギーの受け入れ窓口としての北陸港湾の重要性を説明しております。
	現在日本海を通過する北米航路が多数存在し、また現在新潟から北米向けの貨物も増加しているので、これら日本海通過航路の新潟寄港も真剣に努力すべきである。	中国の発展に伴い、中国 - 北米航路の重要性が高まると考えられ、特に北東アジアの発展に伴い、日本海航路の運航頻度が高くなると考えられます。そのことから、将来像として、日本海を航行する北米航路の重要性、北陸港湾への寄港の実現と利用促進について記述をしております。
	今後の北陸地方の発展のためには、国際フェリーなど貨客船によるアジアとの国際交流を始めたり、港湾や空港周辺環境づくりに国際的な感覚を取り入れるなどしてはどうか。	ご意見を踏まえ、24 ページ を「・・・港湾を観光資源として活用するため、各港が長年築き上げてきた良好な景観や、国際的な雰囲気や港周辺空間作りを取り込みつつ、住民とともにみなとまちづくり等の取り組みを積極的に進めます。」と修正し、港湾・空港の持つ国際的な感覚を周辺のまちづくりに取り入れ、地域の特色づくりの動きと連携していく旨記述をしております。

分 類	意 見	対 応
港湾施設に関するご意見	計画策定は企業の動きとタイムラグがあり、港湾整備のチャンス逃しているのではないか。	ご指摘を踏まえ、40 ページの(2)を「・・・また、利用者のニーズに迅速に対応できるよう、必要な施設の計画策定・整備を迅速に行います。」と修正しております。
	コンテナヤード、荷役機械、倉庫が不足しているので早急な支援を願いたい。	ご意見を踏まえ、国際海上コンテナターミナルなどの物流ターミナルと、それに連携して機能する荷捌きヤードなどの物流施設を整備し、効率的な物流拠点の形成を図る旨、記述しております。
危機管理に関するご意見	新潟中越地震で断絶した陸上交通機関の代替ルートとして空港や港湾が活用されたことを踏まえた代替ルートの重要性に関する記述を入れた方がよい。	ご指摘を踏まえ、港湾・空港施設の耐震化や陸上輸送機関からのシフトに対応可能な施設整備を行う旨の修正を行い、災害発生時の陸上輸送機関の寸断に対する代替輸送機関としての港湾・空港の重要性について説明しております。
	交通機関の断絶による混乱を回避するため、二重三重の輸送手段の維持が重要。また、災害時の貨物輸送の増加にも対応できるように、通常時に加えて適度な余裕を持った施設整備が重要。	ご意見を踏まえ、災害発生時の陸上交通機関の輸送寸断に対する港湾・空港の代替機能の重要性について記述しております。
	世界的にテロ行為が懸念される今日、さらに積極的なテロ防止対策を推進してほしい。	ご意見を踏まえ、32 ページの下から 3 行を「北陸地方の港湾においても、今後航路網の充実など交流拡大に対応し、港湾貨物等の安全確保のため・・・」として、港湾における安全対策の強化を進める旨記述しております。
その他	日本海側のゲートウェイは 1 つの港だけでは機能せず、各港が連携しながら成立すると考える。よって「地域が連携して対応できる体制を」の表現がよいのではないか。	ご指摘を踏まえ、40 ページ(2)を「・・・北陸地方全体として広域的な港湾間の連携を図ることにより、背後圏荷主に対する認知度の向上、航路の開設、対岸諸国との交流等を推進し・・・」とし、日本海側港湾の連携の重要性と連携によるポートセールスの推進の必要性を明確にしております。
	新潟特産の新高梨が香港など海外で贈答用として珍重されるというニュースをみたが、トラックで横浜に向かうということで少し残念。新潟で直接出入荷できるようになると、もっと鮮度のいい物が行き来して食卓が賑わうことを期待する。	ご意見を踏まえ、15 ページの下から 2 行を「・・・『北陸ブランド』としてコンテナを活用した実験的な取り組みを行い、それを契機として輸出促進を図ります。」と修正し、北陸地方の貿易振興に対する取り組みの内容を分かりやすくしております。